

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

船木自主防災会

事業名	1	地域防災体制強化事業(安心・安全強化事業)		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	361,477円	助成金充当額	20,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	3500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・救急救命講習会の開催 ・防災研修会の開催 ・防災講演会 ・防災状況実態調査 ・土砂災害研修会 ・広報紙「船木防災だより」の戸別配布 ・緊急連絡通報訓練の実施 ・防災マップの更新 ・防災資機材の管理 ・地域避難場所の拡充			
事業目標	・防災研修会(船木ふれあいセンター避難所設営訓練) ・防災講演会			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・防災研修会 ・防災講演会	・80人 ・50人	・35人 ・40人	
	(達成できた、または、できなかった要因) ・地区内でのコロナクラスター発生もあり、また施設利用制限人数内であっても、最終的には個人的判断に委ねられるためにコロナ感染を思えば欠席もあり得るため目標を達成できていない。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地区民一人ひとりの防災意識の維持向上が図られ災害に強い地域づくりに近づいている。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・様々な働きかけは知識だけでなく備蓄などの具体的な行動にも少しずつ結びついている。 ・災害に強い地域づくりをするために、これからも研修会や講演会などの事業への地道な取り組みを続けるとともに、創意工夫により、様々な年齢層の地区民にさらなる防災意識の維持向上を目指したい。地域性もあり難しいが女性の参画を地道に呼掛けたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

船木地区体育振興会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和2年6月～令和2年10月			
決算額	323,585円		助成金充当額	90,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	3500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ふれあい運動会 ふれあい球技大会 ※運動会、球技大会は新型コロナウイルス感染防止のため中止			
事業目標	ふれあい運動会 ふれあい球技大会 の実施 参加者の拡大			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	運動会参加者 球技大会参加者	270名 90名	中止 中止	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・運動会については、中学校のボランティア等も参加していただけるようになり、増える予定だったが、残念ながら新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。(例年は、約250名の参加) ・球技大会についても、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区民の運動実践活動の充実			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・今後、運動会については、雨天の場合も体育館で規模を縮小して開催することを検討中。 ・中学校の行事とすり合わせて、参加可能な日程で開催する。 ・球技大会については、ポッチャを普及させることにより、参加者の増加を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		①	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2 3
	今後も事業継続できますか		1	② 3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 老人クラブ寿会連合会

事業名	3	老人クラブ活動事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	272,565 円		助成金充当額	23,750 円	
事業対象者	老人クラブ加入者		参加人数	130人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 健康づくり;スポーツ大会(ベタンク)・演芸大会 社会活動;清掃奉仕・子ども見守り・友愛訪問・交通立哨・世代交流伝承				
事業目標	健康活動の実施 児童生徒の登下校の見守り				
	数値目標		令和2年目標	令和2年実績	
	スポーツ大会参加者		60人	50人	
	健康講座参加者		50人	0人	
(達成できた、又は、できなかった要因) ・皆様は楽しみにしていたが、一部の事業がコロナ禍で中止になった。					
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 会員相互の健康づくり、元気づくりと親睦				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 今年度からスポーツ大会にベタンク競技を取り入れたが、好評であった。 今後は練習の機会を多く取りたい。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

地域支え合い会議

事業名	4	高齢者見守り事業1		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	94,032円	助成金充当額	コミの特別部会	
事業対象者	全地区民	参加人数	3500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 見守り施策である「各自治会でのゆるやかな見守り」「事業者の協力による船木あったか見守りネットワーク」を進めてきたが、コロナ禍で脱対面/新生活様式から更に「見守りの精度up」が必要となり、「宇部市の安心コールサービスの設置拡大」「民生委員/福祉委員との連携強化(Q救ちゃん、ヘルプカード、見守り愛ネット、防災メール等)」を展開した。また、第2期健康づくりプランを策定し推進する。			
事業目標	孤独死(発見遅い)ゼロ(認知症行方不明者ゼロ)を達成できた。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	各自治会でのゆるやかな見守り体制事業者による「船木あったか見守りネットワーク」健康づくりプラン	対象者居住自治会 68% 42社以上 特定健診・がん検診市平均以上	福祉交流会中止に伴い民協会議、福祉委員会で協力要請 50社 いずれも達成した。	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 認知症行方不明者は行政へ確認する。 各自治会でのゆるやかな見守り体制構築も福祉委員さんの交代もありPRするが、大きく進展していない。 健康づくりプランのふれあい運動会/球技大会/健康ウォーキングはコロナで中止。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) お年寄りでも安心して暮らせるまちづくりを目指す。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 確実で安価な見守りツール(中電のスマートメーターと行政タイアップ型を提案する) ・ 各自治会での見守り対応啓発活動の進め方			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

伝統復活・健康民踊教室

事業名	5	高齢者見守り事業2		
事業期間	令和2年5月～12月			
決算額	645,343 円		助成金充当額	28,500 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 踊りでフィットネス(講師料、旅費等) 機材購入(着物、帯)			
事業目標	ふれあいサロン、老人クラブ、高齢者施設等で「踊りでフィットネス」の実施 小学校運動会での総踊りの実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	踊りでフィットネス実施回数、参加者人数	年6回：参加者500人	年2回：300人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・小学校の運動会では、子どもたちへ船木小唄伝承の役目を果たすことができた。 ・その他は1年間コロナ禍の中で、サロンや地域の盆踊り等が中止となったため、予定どおり実施できなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地域伝統芸能の伝承 身近な健康づくり、元気づくりの推進			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 船木小唄の伝承のため、できるだけ多くの行事に参加。 小学校の運動会への参加も毎年継続していきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

船木小学校運営協議会

事業名	6-1	小中学校連携事業1(小学校)		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	47,500円		助成金充当額	47,500円
事業対象者	全校区民		参加人数	3500人
事業内容	○「チャレンジ船木塾」「ありがとうの木」「めざせ達筆!船木の子」活動 ○地域行事への参加 ○地域支援ボランティア活動 ○学校支援ボランティア活動 ○学校運営協議会活動			
事業目標	地域とともにある学校づくり			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・やまぐちっ子学習プリント印刷枚数 ・地域行事参加児童数	・5,000枚 ・100人	・100,000枚 ・100人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・週末学習プリントとしてほぼ欠かさず課題提出として実施できた。 ・地域行事のチラシを活用し、児童への参加呼びかけを適宜行った。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域と学校が共同して児童育成に取り組む意識が高まった。 ・地域と良好な関係づくりができ、学校行事や取組に大変協力的になった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域からの協力支援をより一層充実したものにし、船木小としての地域連携教育を更に推進していく。 ・児童の地域貢献活動をより充実させ活発化させていく。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

学校運営協議会

事業名	6-2	小中学校連携事業1 (中学校)		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	12,000円		助成金充当額	12,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	140人
事業内容	地域行事へのボランティア活動『生徒会 We Love KUSUNOKI プロジェクト』(地域貢献) コミュニティスクールへの支援『美術授業におけるミニ赤間硯の制作』(教育支援) " 『PTAとの協働による校地の環境整備』(教育支援)			
事業目標	学校と共にある地域づくり			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	地域行事へのボランティア活動参加	120人	10人	
	コミュニティスクールとしての支援	100人	1人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍によって『楠中生徒会 We Love KUSUNOKI プロジェクト』のすべてを休止せざるを得なかった。 宇部市のステージ2指定によって地域住民を招く機会を逸した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 学校と地域の相互連携による良好な関係づくりが進んだ。 地域貢献に対する士気高揚に向けたのぼり旗を作成することができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) コロナ禍のなかでの事業推進を狙った方策の検討			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル

事業名	7	小中学校連携事業2		
事業期間	令和2年3月			
決算額	25,000円		助成金充当額	25,000円
事業対象者	船木小学校5年生		参加人数	30人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 子ども生け花教室(主目的は、生け花を体験すること) 旧楠生活学校のメンバーが講師となって、小学校5年生を対象にフラワーアレンジメントを指導し、出来上がった作品で卒業式の会場・校内の彩りをする。			
事業目標	フラワーアレンジメントの製作(生け花体験)・卒業式の飾りつけ			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	生け花体験とあわせて、作った作品で卒業式当日の雰囲気盛り上げること			
	(達成できた、又は、できなかった要因) 達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 日本の伝統である生け花の体験、地域と協力した卒業式の雰囲気作り 小学校連携のフラワーアレンジメント教室は、児童の感性や情操に効果があったと感じる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 少子高齢化、人口減少など課題はあるが子供を大切にしたいということで、残している事業なので、できる限り継続していく。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	② 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	② 3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル

事業名	8	船木の歴史・伝統、保存・伝承事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	227,831 円	助成金充当額	58,500 円	
事業対象者	まちづくりサークルメンバー	参加人数	9人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 拓本の採り方(実技研修) 紙芝居の作成(地域発展に貢献された方) 船木地区散策マップをリニューアル作成 地域清掃活動(中央公園の草刈、ごみ拾い、トイレ清掃)			
事業目標	毎月の定例学習会等の実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・拓本の採り方(実技) ・紙芝居の作成(毛利勅子様、千林尼様)の2本 ・ガイドマップのリニューアル	紙芝居の完成	紙芝居完成 (維新回天の地・船木)	
	(達成できた、又は、できなかった要因) いずれも達成した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地域における文化伝承と理解を深めることができた。紙芝居の内容では厚狭高等学校にも関係する事柄で、同校の同窓会会長などの方々の観劇もあり、地域のつながりを再認識できた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 徐々に地域住民の高齢化や人口減少が続いている中、残していきたい文化や伝統がある。少子高齢化、人口減少などがそれらを難しくしているが、広く住民への伝承を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

宇部市環境衛生連合会船木支部

事業名	9	地区環境整備事業			
事業期間	令和2年5月～令和3年3月				
決算額	746,782円		助成金充当額	95,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	3,500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 有帆川河川清掃(年2回/6月・9月) 西在地区道路清掃(空缶拾い) ごみ・空缶の持ち帰りの啓発活動(チラシ、ティッシュ配布) ボランティアチャレンジデー参加 地区環境整備活動(各自治会の環境整備への協力、中央公園清掃活動)				
事業目標	全地区民の環境整備活動への参加 地区内の環境整備・美化				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	環境整備活動への参加者	延べ参加人数:1,000名	延べ参加人数:1,017名		
	(達成できた、又は、できなかった要因) 6月の有帆川の草刈りはコロナ感染防止のため、参加人数制限(23名)9月は92名参加 7月のボランティアチャレンジデーは7団体139名参加 10月の西在道路の清掃(缶拾い)は50名参加				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 環境美化意識を高め、地区内の衛生的で美しい環境づくりの推進				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 地域の美化、景観保持のため欠かすことのできない事業				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

楠地区社会福祉協議会

事業名	10	敬老事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	484,880 円	助成金充当額	484,880 円	
事業対象者	地区の高齢者	参加人数	1,100人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 激励と慰安の会の実施 米寿・百歳の方の肖像写真贈呈、全対象者へ記念品贈呈 高齢者居場所作り(地域サロンの支援:現在7箇所)			
事業目標	高齢者の生きがい作り			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	敬老行事参加者数	100人	中止	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナにより行事は中止。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・毎年、肖像写真の撮影を楽しみにしておられます。 ・健康寿命の延伸			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 今後、ますます高齢化が進んでいく中で、在宅での生きがいづくり・居場所づくり・健康寿命の延伸等の観点からぜひ必要。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

生涯学習作品展実行委員会

事業名	11	地区文化振興事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	32,188 円		助成金充当額	30,038 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 生涯学習作品の展示発表 コロナウイルス対策での自粛要請を受け、中止とした。			
事業目標	サークル等で日頃から取り組んでいる作品を展示することで意識の向上を図る			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	参加団体の数	14団体以上	中止	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染防止 サークル活動をしている方の高齢化			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) -			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 生涯学習を継続し、文化意識向上のため発表の場が必要。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 ふれあい運動推進委員会

事業名	12	青少年健全育成事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	65,020 円		助成金充当額	40,350 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	3500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 通学路の安全 生徒、児童の登下校の見守り 青少年健全育成の啓発活動 学校、地域、関係機関(警察)との情報共有と連携				
事業目標	地区児童生徒の健全育成の推進				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	多くの地域の目があることで、安心安全な登下校ができること。	見守り活動の実施	見守り活動の実施 青少年育成地域づくり支援助成金で、「見守り運動実施中」の旗とポールを購入		
	(達成できた、又は、できなかった要因) 登下校の見守りについては、計画通り実施できた。啓発活動、街頭補導はコロナウィルスによる行事の中止で実施できなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 登下校の見守りを通して、地区の子供たちが健全に成長してくれること				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 隔年の「子供110番の旗」やポールの補充 見守り活動の旗の設置期間を当日だけから1週間に延長 通学路の安全点検				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

宇部市交通安全協会楠分会

事業名	13	交通安全推進事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	262,267 円		助成金充当額	9,500 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3,500 人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施 ・安全指導、啓発活動、交通立哨等 ・のぼり旗、横断幕の設置			
事業目標	春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	日常的な安全運転への意識が向上すること	啓発活動・交通立哨	啓発活動・交通立哨	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 交通安全運動期間中等、のぼり旗等のこまめな掲揚や交通立哨をした。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 安全指導、啓発活動、交通立哨等とおして、住民の交通安全、交通道德の意識の高揚を図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 交通安全、交通道德の意識の高揚や交通事故抑止のため継続的の実施すべき事業である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 コミュニティ推進協議会

事業名	14	コミュニティ行事運営事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年				
決算額	1,626,998 円		助成金充当額	273,482 円	
事業対象者	全地区民 市民参加募集(健康ウォーキング)		参加人数	3500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・中期ビジョン5年間の総括/第2期中期ビジョンの策定(全戸配布)/コロナ禍での中期ビジョン見直し(第2期4大テーマ:防災体制強化・高齢者の見守り強化・子育て支援強化・船木の活性化) ・コミ理事会 隔月1回開催(進捗度・その他情報の共有) ・広報誌「ふなきだより」発行(毎月) ・主催行事 どんど焼き・船木宿健康ウォーキングは天候不良、コロナで中止 4団体研修は代替行事(\$47災害から学ぶ)				
事業目標	令和2～7年迄の「第2期中期ビジョン(地域計画)」の策定、推進 主催行事である「どんど焼き」「船木宿健康ウォーキング」の実施				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	第2期中期ビジョン/前ビジョン5年間の総括 船木宿健康ウォーキング参加者 どんど焼き	1620世帯(全戸)配布 200人 130人	1620世帯(全戸)配布 (コロナで中止) (雪で中止)		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) 第2期中期ビジョン(前期ビジョン5年間の総括含む)はR2～7年が対象でスタートできた。 船木宿健康ウォーキングはコロナ感染防止で中止とし、代替行事で新市長を招き対話集会を企画したが、都合により活動結果の市長報告となった。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 若手人材育成、住民との一体感(全住民参加型運営) 地域力upは行政の重要課題であるが、助成金が減額される。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

船木活性化懇話会

事業名	15	新規行事創出事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	89,245 円	助成金充当額	コミの特別部会	
事業対象者	全地区民 宇部市民参加募集	参加人数	24人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・千林尼石畳道の清掃整備・・・コロナ禍で中学生の参加なし 5月30(11名参加)、10月31日(13名参加) ・コロナ禍でそばづくりのイベントは中止(そば植えも実施せず) ・千林尼石畳ウォークも計画なし			
事業目標	千林尼石畳道清掃、そば打ち体験、石畳ウォークの実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	そば打ち体験参加者	50人	0人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・石畳清掃はスタッフのみで実施した。 ・そばイベント、ウォーキングはコロナ禍で早々と中止した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・史跡の保全管理が継続してできた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) コロナ禍の収束			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	①	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	①	2	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 子育て支援プロジェクト

事業名	16	地区子育て支援事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	0円	助成金充当額	コミの特別部会	
事業対象者	全地区民	参加人数	3500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・「PTA」「子ども会」の地域要望に対応 ・学校運営協議会の地域要望に対応(学校との連携強化) ・通学路の安全、街頭補導の実施(ふれあい運動推進員等) ・子ども委員会の運営力アップ(組織強化) ・ふるさと土曜夏まつりの「七夕コンテスト」は夏祭りを含めコロナで中止となった。			
事業目標	子育て世帯の地域要望には出来るだけ対応し、船木地区に子育て世帯を呼び込みたい。学校コミスク事業を地域として全面バックアップする。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	「子ども委員会」組織強化にコミ団体加入 ふれあい運動推進による「見守り運動の実施 とのぼり旗の掲示	25団体から26団体 1日/月→1week/ 月	加入26団体 1week/月で啓発効果	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 危険対応で「中央公園トイレのパトライト視認性改善」「山根川の注意喚起を表示」が出来た。 (土曜夏祭りがコロナで中止となり、「七夕コンテスト」は未実施)			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・「子ども会」「PTA」「子ども委員会」「学校」等から相談されやすい子育て支援プロジェクト(コミュニティ推進協議会)に変化改善している。・コロナ感染防止を追加 ・第4四半期で「教育支援ボランティアの登録制度」人材バンクを構築中。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・子ども会加入者減(80%以上→65%)とコロナ禍で「子ども会」組織が弱体化 ・子どもの居場所づくり(食堂、学習、遊び等) ・通学路の安全検証(ブロック塀、街灯少ない、不審者等)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 船木地区自治会連合会

事業名	17	自治会連合会活動事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	433,035 円		助成金充当額	19,200 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 地域活動支援事業 ・広報紙「船木自治連ニュース」の戸別配布 ・自治連教養講座の開催を広報紙等で参加呼びかけ ・4団体合同研修視察への参加を広報紙等で呼びかけ			
事業目標	・広報紙「船木自治連ニュース」			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・広報紙「船木自治連ニュース」	・毎月発行を目指す。	・毎月発行した。	
	(達成できた、またはできなかった理由) ・達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・自治会連合会の事業は、地域で開催される様々な行事等に住民を参加させることにある。十分とは言えないが、回覧ではなく、戸別配布することにより目に触れやすくなったのではないかと考えられる。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・知ることにより参加等の具体的な行動に結びつく。これからも地道な啓発活動として継続したい。ただし、読んでいる年齢が高齢者に偏る傾向もあるので、内容の精選や表現や記事の組み方等について意識的に目を通してもらえるような広報紙を目指したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3